

# 校長だより

福津市立福間東中学校

校長 猪股 清貴

平成 27 年 6 月 16 日 No15

## 「自助」の精神



6月12日(金)に地震による火災を想定した避難訓練を行いました。警報に続く放送で火災現場を確認した後、運動場中央まで5分以内で避難を完了するという目標で行いました。消防署の方との事前の打ち合わせでは5分の目標はぎりぎりでしょう。達成できるといいですね。というお話でしたが、なんと550人余りの生徒、教職員全員の避難が完了したのが4分43秒でした。目標を17秒も上回りました。一人の死傷者も出すことなく避難できたこととなります。左の写真は消防署の方の指導でクラス代表が

水消火器を使って消火訓練を行っているところです。防災の基本は「自助」だと言われます。つまり、自分の命は自分で守る、自分のことは自分で助ける・なんとかする、ということです。自助が防災の基本と言われるのは、まずは自分を守ることに、家族や友人・隣人を助けにいくことができるからです。「救助される人」でなく、「救助する人」になること。それが自助の取り組みです。訓練をしているかどうかでいざという時の判断や動きが大きく左右されます。部活動でも基本動作を何度も何度も繰り返すことで、本番の様々なプレーに反応できるようになるのと同じことですね。災害はいつ何時起こるか予想もつきません。また、いつ起こっても不思議ではないのです。整然と廊下に並び、運動場に避難してきた皆さんの姿に拍手です。



## ボランティア精神



左の写真は6月13・14日のボランティア活動の様子です。西郷川花園で行われた田植えには17名、夢農場に行われたジャガイモの収穫には20人が参加しました。ボランティアの語源をずっとたどっていくとラテン語のvoluntaであり、自由意思という意味を持っているそうです。つまり、ボランティアとは自分の自由意思で活動し、決して他人に強要(無理強い)したり、対価(見返り)を求めたりしない活動です。この活動に多くの東中生が自分の意思で参加しています。

つまり、ボランティアとは自分の自由意思で活動し、決して他人に強要(無理強い)したり、対価(見返り)を求めたりしない活動です。この活動に多くの東中生が自分の意思で参加しています。